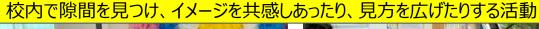
## リーディングDXスクール事業 【実践事例】

#### 【取組内容】 ① 1 年 図画工作科 友達との交流を通して自分の表現を深める活動

チャットスペースの様子







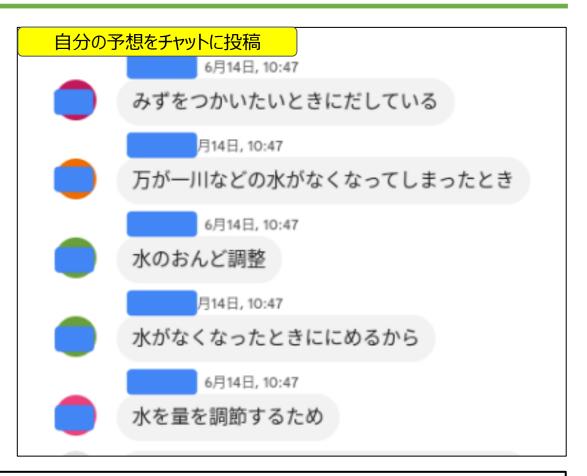


作成した「すきまちゃん」と一緒に、校内ですきな隙間を探し、隙間に「すきま ちゃん」を置いて写真を撮り、チャットスペースへ投稿する。自分の作成した 「すきまちゃん」が入った隙間の写真を友達に見せて、交流をする。いろいろ な隙間を見付ける学習活動と共に、「すきまちゃん」がどんな気持ちなのかイ メージを広げ、友達との交流を通して共感や見方を広げていった。

### リーディングDXスクール事業 【実践事例】

#### 【取組内容】 ②3年 社会科 情報活用能力を育むダムの学習

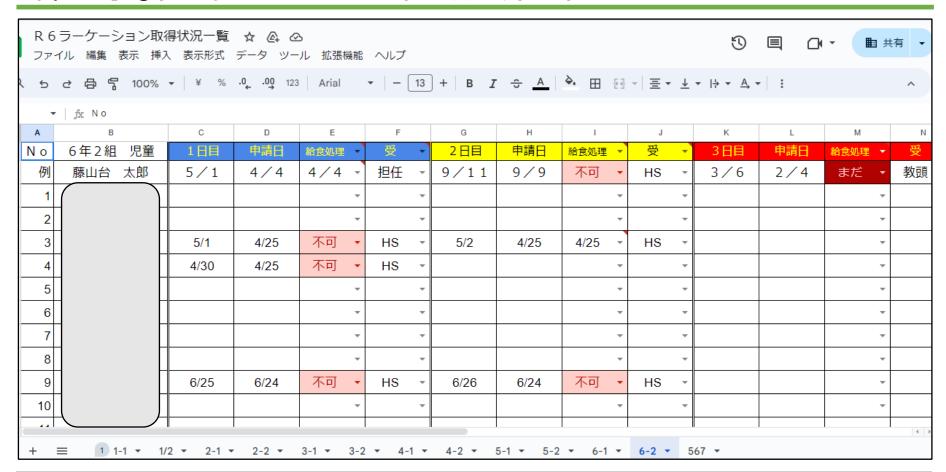




「ダムの役割」の学習では、動画を視聴し場所を確認した。次に、チャットスペースでダムの役割を予想させ、自分の考えをクラスで共有する。そして自分の立てた予想が正しいのか、教科書や副読本、パンフレットを使って、ダムの働きについて調べ、デジタルホワイトボードソフトやノートを使ってまとめさせる。複数の情報源を参照することで、情報の信頼性や妥当性を判断する力を身につけさせる。情報活用能力の基盤となる情報リテラシーを育てることができた。また友達との様々な意見を共有していく中で、自分の集めた情報を比較・分析する力も育てることができた。

# リーディングDXスクール事業 【実践事例】

#### 【取組内容】 ④家庭からの児童ラーケーション申請をスプレッドシートで一元化



ラーケーション(R6年度より事前に学ぶ日程・場所・内容などの届け出をすれば平日に学校を休める制度。愛知県内の公立の小・中・高および特別支援学校に通う児童生徒が対象)取得日の確認をするためにスプレッドシートを使って、年3回取得できる状況を把握できるように全職員で共有している。これを参照することで不要の給食を事前にカットすることもできる。わざわざ担任に確認する作業や手間も減って、業務が大幅に時短化された。